



「宇都宮の戊辰戦争と山本有三」に関する本

——戊辰戦争に関する本——

『下野の戊辰戦争』（大嶽浩良／著 下野新聞社 2004年）【K200.6/オ】

栃木県の戊辰戦争を、当時の民衆の視点を軸に紹介。県民に語り継いでもらいたいという思いから、カラー写真等も多数掲載。宇都宮藩と長岡藩の関わりについてのコラム「戊辰之役戦士墓」も収録（p40）。★講師著作

『天地人 2016年12月号』（宇都宮商工会議所／編集・発行 2016年）【K200.6/ウ】

特集「宇都宮の戊辰戦争」（大嶽浩良／著）。宇都宮が戦場となった慶応4年（1968年）4月19日から、同4月24日までの出来事についてまとめられている。★講師著作

『下野の明治維新』（大嶽浩良／著 下野新聞社 2014年）【K200.6/オ】

ペリー来航から栃木県の成立までの時期について、包括的に論じた著作。戊辰戦争については第7章「下野の戊辰戦争と民衆」を参照。★講師著作

『戊辰之役戦士墓』（大山安司／著・発行 1990年）【K200.6/オ】 ●館内閲覧のみ

西原地区六道辻にある「戊辰之役戦士墓」。これは宇都宮藩に捕えられた山本帯刀（長岡藩）が、殉難者の供養の為に宇都宮藩士に金を託したことがきっかけで建立されたもの。

『宇都宮藩を中心とする戊辰戦史』（小林友雄／著 宇都宮観光協会 1970年）【K210/コ】

「戊辰之役戦士墓」について、その被葬者と建立の経緯を初めて明らかにした著作。

『戊辰戦争』（大町雅美／著 雄山閣出版 1968年）【K200.6/オ】 ●館内閲覧のみ

戊辰戦争史全体のなかに、栃木県での内乱・戦闘を明確に位置づけた著作。

『戊辰戦争全史 上・下』（菊地明・伊東成郎／編 戎光祥出版 2018年）【K200.6/キ/1】

戊辰戦争の展開を地域ごとに記述。栃木県については上巻第4章および5章を参照。

——山本有三に関する本——

『米百俵』（山本有三／著 新潮社 2001年）【K912.6/ヤ/01】

長岡藩の参事・小林虎三郎の逸話を基にした戯曲。戊辰戦争に敗れ窮状にあった長岡藩に、ある日他藩より百俵の米が送られてくる。しかし小林は藩士にこれを与えず、次の世代を担う子供を育てる為にと、米を売ってその金で学校を設立する。

『路傍の石』 (山本有三／著 新潮社 2003年)【F/ヤマモ.ユ/03】

山本有三の代表作。少年吾一の成長を描く、昭和12年(1937年)発表の新聞小説。

『真実一路』 (山本有三／著 新潮社 2003年)【F/ヤマモ.ユ/90】

人生を「真実一路」に生きようと、傷つきながら生きる人々の真摯な姿を描く。

『心に太陽を持て』 (山本有三／著 ポプラ社 2001年)【914.6/ヤマモ.ユ】

子ども向けの「胸にひびく話」を集めた説話集。昭和10年(1935年)出版。

『栃木県近代文学全集 第1巻』

(栃木県文化協会／編 1990年 下野新聞社)【K908/ト/1】

栃木県出身の文学者の代表作を納めた全集(全6巻)。第1巻には山本有三「波」のほか、江口渙と吉屋信子の作品、および各人についての解説を収録。

『山本有三全集(全12巻)』(山本有三／著 新潮社 1977年)【918.68/ヤマモ.ユ/11】

随筆・評論を納めた第11巻には、自身の戯曲『米百俵』に触れながら国の教育政策を問う、参議院議員時代の演説「教育について」(p189)等を収録。また、山本有三全集に付されている月報(『山本有三全集付録』)には星新一著『「米百俵」とその時代」等を所収。

『山本有三年譜』 (栃木市図書館／編集・発行 1986年)【K902/ヤ】

山本有三の生涯を年表形式にまとめた小冊子。有三の逸話や作品解説も収録。

『郷土の先覚者 山本有三』

(佐々木正道／著 栃木県連合教育会 1991年)【K289/ヤマモ】

小説家としての山本有三ではなく、青少年育成の先達としての有三を描いた著作。

『下野史談 第六十三号』 (田代博／編 下野史談会 1987年)【K205/シ/63】

岩崎良能著「文豪山本有三先生の思い出」(p13)を所収。「宇都宮藩については詳しくない」と言う有三に対し、著者は史実を調査し、手紙のやり取りを通じて報告したという。

『奥野健男作家論集 2』 (奥野健男／著 泰流社 1977年)【910.26/オ/2-77】

著者は、「文学は社会性と反社会性の二面がきっこうすることによってのみ発展しうる」(p54)としたうえで、山本有三を社会性を代表する文学の極として位置付ける(ちなみに、反社会性の文学の極には太宰治を位置付けている)。

『みんなで読もう山本有三』

(三鷹市山本有三記念館／編 笠間書院 2006年)【910.28/ヤマモ.ユ】

山本有三の作品および山本有三論について解説した観賞書。

館内閲覧のみの資料も含まれています。
この他にも資料がありますので、図書館職員に
お気軽にご相談ください。

宇都宮市立中央図書館
〒320-0845 宇都宮市明保野町7番57号
TEL : 028-636-0231 FAX : 028-639-0740
9:30~19:00(金曜休館) (令和元年9月作成)